

平成30年度宇治市の家計簿

前年度からの

具体的には…

○収入

給与などの収入	494 万円〔-9 万円〕	市税、譲与税、交付金、使用料など
親からの仕送り	71 万円〔±0 万円〕	地方交付税
ローン（家・車の購入のため）	22 万円〔-6 万円〕	道路・河川の整備、学校改修などの資金
ローン（生活資金のため）	27 万円〔+4 万円〕	臨時財政対策債
預貯金の引き出し	2 万円〔-7 万円〕	基金繰入金
繰越金	5 万円〔+1 万円〕	繰越金



収入合計 621 万円〔-17 万円〕

平成30年度の家計は…

昨年度と比べて、給与などの収入は減りましたが、家計の見直しを行う中で、生活費や、家や車の購入にかかる経費などが減ったことから、家・車の購入のためのローンの借り入れや、預貯金の引き出しを抑えるとともに、預貯金の積み立ても増やすことができました。

将来を見据えると、生活費は増えることが見込まれているほか、家や車についても老朽化が進んでおり、修繕や改修などに伴う支出も増える見込みです。

このように、厳しい状況が見込まれることから、生活費の抑制はもちろんのこと、その他の支出についても無駄がないか徹底的に見直し、ローンの借り入れに無理がないのか、預貯金の残高にも気を配りながら、家計の安定に向けて、引き続き、努力や工夫が必要です。

なお、ローン残高は、若干の減少となる一方で、預貯金の積み立ても行えたことから、預貯金残高は、前年度より増加しました。今後も将来の支出に備えて、預貯金の積み立てを行っていくことが必要です。

普通会計の歳入・歳出決算額を1/10,000にして、
一般家庭に例えると・・・

前年度からの

具体的には・・・

○支出

生活費など	259 万円 [-4 万円]	人件費、扶助費、維持補修費など
子どもの教育費など	155 万円 [+2 万円]	教育費、民生費のうち児童福祉費
保険料・下水道費用	74 万円 [±0 万円]	国保特会、公共下水道事業などへの繰出金
家や車の購入	43 万円 [-15 万円]	道路・河川の整備、学校改修費用など
貸付金など	24 万円 [±0 万円]	貸し付け事業の費用（年度末には返金）
預貯金の積み立て	6 万円 [+3 万円]	基金への積立金
ローンの返済	55 万円 [-3 万円]	公債費
支出合計	616 万円 [-17 万円]	
差し引き	5 万円 [±0 万円]	
ローン残高	440 万円 [-2 万円]	年度末の市債残高
預貯金残高	88 万円 [+5 万円]	年度末の基金残高



(市民一人あたりローン及び預貯金残高の推移) (単位：円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ローン残高	234,755	234,429	234,883
預貯金残高	46,851	44,151	47,128

